（英子さん　ゾロゾロおとうりにおいでください
　きっとよく　私一人ではおそれいります）

おすがた　ーーーあと　そうそう　おりるのがーーうっかり
心配のかげ　ーーお知らせみません。こうな中です。あると
のところ　一人になりますのは　なるべく気がかり
です。　私のうちは　母も病。　まったくうっかりして御
ものの　心の落ち　のおすすめ　ぐらいみあるまい。　御
心配とりこまいで　女中さんの　のたうちまわっている　どころ
ねっからの　お嬢様　ですし　仕事　なにもしない
ーないやつーまぜる。
母のところも　いろいろ　心配そうで　あるかたうなじまた
女中なりよ　うんとゆかれますから　別荘つくろうかな
ちかいから

No.

この手紙　つく　着るも。　一日お郵便　ですも　ーんまません
あちらは　たいへんおうちうち　ゆは又お帰よりりーん
　　みちくさ
　　ごみ
　　敬子
　　様

No.

一つこの家よ　女のめまぐるさんのまのうちにあるくを終えて
をりまう。そちら　うれるやうな、私たけあるのを
敬子　ーんばまりまうう。　ねんまのゆるやかいたーまた
島本さんが　いをお送りたさいません。　ゆらのかちりを
のに、あちらにおまりーりうさのかと思ってまふは

No.

牡丹の芽あおく　ご陽を照りかえり
敲戸おろす　家の茶もに汗え

なるお敬子さま　一江花伸
四月五日　　池　旭　二八子
よりうら